

社会福祉法人 長岡福祉協会こぶし園の管理者の方へ

東京大学大学院医学系研究科老年看護学／創傷看護学分野・石川県立看護大学と株式会社アルムは、在宅療養者において褥瘡（床ずれ）の発生ならびに褥瘡（床ずれ）の悪化を予測する研究に共同で取り組んでいます。

この研究の対象者に該当する方で、訪問看護または訪問介護の記録の研究目的の利用を希望されない場合は、2025 年 12 月 15 日までに末尾に記載の連絡先へご連絡ください。訪問看護または訪問介護の記録に Team を利用された事業所の方は、該当する利用者の方へ研究参加の拒否の機会についてご紹介ください。

【研究課題】

在宅における看護・介護記録を用いた褥瘡の発生および予後の予測
(審査番号 2024046NI-(2))

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

主任研究機関	東京大学大学院医学系研究科・老年看護学／創傷看護学分野
研究代表者	仲上豪二郎・老年看護学／創傷看護学分野・教授
担当業務	研究計画立案・データ解析

【共同研究機関】

研究機関	株式会社アルム
研究責任者	三宅邦明・取締役 Co-CMO
担当業務	研究計画立案・データ抽出
研究機関	石川県立看護大学
研究責任者	真田弘美・学長
担当業務	研究計画立案・データ解析

【研究期間】

承認日～2026 年 3 月 31 日

【対象となる方】

2017 年 9 月 25 日 ～ 2025 年 8 月 31 日の間に、記録のために電子記録システムである Team（株式会社アルム製）を使用している訪問看護・訪問介護の提供事業所を利用された方。訪問看護・介護サービスを受けた時の年齢が 18 歳未満の方は対象にはなりません。

【研究目的・意義】

褥瘡（床ずれ）は、同一部位に長時間、高い圧力・ずれが加わることで発生します。重症の褥瘡（床ずれ）では、皮膚がえぐれた状態となり、感染を生じると時には生命にも係る問題となることもあります。そのため、褥瘡（床ずれ）の発生を予防すること、褥瘡（床ずれ）の悪化を予防することが重要です。本研究では、在宅療養者にどのような特徴があると褥瘡（床ずれ）を発生しやすいか、褥瘡（床ずれ）が悪化しやすいかを予想できるようにすることを目指します。これにより、訪問看護・介護サービス提供者が、褥瘡（床ずれ）の発生・悪化を予防すべき対象者・タイミングを知ることが可能となります。

【研究概要】

Team（電子記録システム）およびライブコネクト（介護支援システム）に記録されている情報を取得して行う研究です。特に研究対象者の方に新たにご負担いただくことはありません。

株式会社アルムが、Team（電子記録システム）およびライブコネクト（介護支援システム）から研究に使用する情報を収集します。その際に、対象者の氏名と利用事業所名は研究用の記号（研究用 ID）に、生年月日は年齢に差し替え、どなたのデータかわからないように処理します。株式会社アルムは、研究者のみが閲覧できる形で情報を電子ファイルで東京大学・石川県立看護大学に提供し、東京大学・石川県立看護大学が解析を行います。

研究に使用する情報や研究方法の詳細を「訪問看護・訪問介護の記録に Team を利用している事業所の訪問サービスをご利用の方およびそのご家族の方へ」に載せています。訪問看護・訪問介護のサービス利用者（あるいはご家族）が、この研究のためにご自分（あるいはご家族）の情報を使用してほしくない場合は、問い合わせ先に 2025 年 12 月 15 日までにご連絡いただくことで、研究参加を拒否できます。研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究対象者に該当する利用者（あるいはご家族）へ研究参加の拒否の機会についてご紹介ください。

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部の許可を受けて実施するものです。

2025 年 10 月

【お問い合わせ先：研究内容に関すること】

研究代表者：仲上豪二郎

連絡担当者：國光真生

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院医学系研究科・老年看護学／創傷看護学分野

電話：03-5841-3424

【研究協力の拒否の申し出：研究に参加したくない場合の連絡先】

研究事務局 連絡担当者：松田達也

連絡先 e-mail：support_sip_bedscore@allm.inc